

<MMIX 復興支援プロジェクト_3.11 メモリアルプロジェクト>

(協力：仙台市、国立大学法人宮城教育大学村上タカシ研究室)

MMIX「3.11 メモリアルプロジェクト」は「のこすプロジェクト」。今回の大震災では多くのものが失われ、家も跡形もなく瓦礫と化した沿岸の町。瓦礫撤去が本格始動し、何もなかったかのように綺麗に元通りに戻すのではなく、後世に伝える「もの」が必要だと考えています。写真、映像、証言、科学的データだけでは届かない、その場で感じられる・感じられたモノを残すこと、原爆ドームのような役割をするメモリアルなモノが必要です。ありえないところにある漁船やねじ曲がった公共物など超現実な世界をあえて残し自然の脅威などを後世に伝えるプロジェクトです

場所：宮城県仙台市内 被災沿岸域 (参考写真上：宮城県石巻市／下：宮城郡七ヶ浜町)



期間： 2011年4月～ ※長期的、半永久的なメモリアル展示・保存を目的とした活動。

対象： MMIX Lab 代表・村上タカシ（美術家）、MMIX Lab 構成メンバー、被災した沿岸地域の再生の原点・復興シンボルとして<3.11 メモリアルプロジェクト>に賛同いただける地域住民、「モノ」の所有者、地主、地域自治体、行政、大学、国・県内外NPO・NGO等の協力を仰ぎ、アートによる地域復興のシンボリック拠点の存続を目指します。

具体的な活動内容：

- ・メモリアルプロジェクトとしてののこす「モノ・場所」探し（調査・保管）
- ・「モノ」の所有者、地主、地域自治体、行政とのコンセンサスづくり、交渉
- ・「モノ」の状態確認、維持する上での安全面、必要な補修等の実施
- ・保安全管理、補修等のフォローアップ
- ・メモリアルプロジェクト・オープニングセレモニー
- ・3.11 アニバーサリー・セレモニーの開催 など

